



▲ 体育館を見学する区長

只見地区区長連絡会では、只見地区にある公共施設などの活用を考えることを目的として、12月3日、旧只見中学校の施設を見学しました。

参加された区長は、只見・十島・塩沢・叶津・黒沢の5名で、施設の1階正面入口から体育館施設並びに校舎施設3階まで全ての部屋を確認し、より有効な活用について、意見を交換しながらの見学会となりました。

参加された区長からは、「このように立派な施設を空き公共施設としておくことは、もったいない。何か活用手段を」などと感慨深く感想が述べられました。

只見地区区長連絡会では、今回の視察結果を各集落で報告され、意見を伺い、より良い施設利用計画を町（行政）に対し提案できるように、今後取り組んでいきたいというこ

旧只見中学校施設見学会

只見地区の区長連絡会が実施

叙位・叙勲

菅家作弥さんに 旭日単光章

元町議会議員の菅家作弥さんへの旭日単光章の伝達式が、12月22日に只見町黒谷の自宅で行われました。皆川誠司福島県南会津地方振興局次長の立ち合いのもと目黒町長から菅家作弥さんに勲記、勲章などが手渡されました。

菅家作弥さんは、昭和35年4月に只見町議会議員に初当選され、昭和47年4月まで通算3期12年間に在職されました。その間、経済常任委員会委員長や副委員長をはじめ、豪雪対策特別委員会副委員長を務められ、只見町議会及び地方自治の発展、



▲ 菅家作弥さん(右)と妻のトメヨさん(左)

町の振興に尽くされました。また、農業委員会委員として地域農業の振興や生産性の向上に努められ、民生委員・児童委員としても地域福祉の向上に貢献されました。

待望の雪が降り積もる中

只見スキー場オープン式



▲ 関係者によるテープカット

をいただきますよう、お願いいたします」とあいさつを述べました。

続いて、スタッフ紹介、その後、五十嵐源一郎振興公社監査役の発声で献杯が行われ、無事故と経営発展を祈願しました。最後に目黒千代作取締役ら関係者によるテープカットでオープンを祝いました。

今年ベストタイミングで雪が降り、今朝のスキー場での積雪が30センチメートルあり、19日にはリフト営業が行えると話すとスタッフが笑顔が印象的でした。皆さん、只見スキー場をぜひご利用ください。

待ちに待った只見スキー場のオープン式が、12月18日に同スキー場で行われ、スキー場を営管理する株式会社社会津ただみ振興公社の目黒千代作取締役をはじめ、関係者約30名が出席されました。

開所式では、目黒長一郎町体育協会会長が「只見スキー場は町内唯一のウインタースポーツ施設としてスキーやスノーボードなど広く皆様方に利用いただいています。このスキー場で技術を磨いた小中学生や高校生、一般の方が各種大会ですばらしい成績を収めています。スキー場スタッフの方々には、スキー競技発展のため、ご指導、ご支援



▲ グレンデ整備に余念のないスキー場スタッフ



▲ やさしい明かりに包まれた「喫茶・キャンドル」



▲ 圏外バンドのライブ

キャンドルの夜がロマンチックに 喫茶・キャンドル

只見スキー場のオーブニングイベントとして、12月19日の午後5時から只見スキー場のレストランで「喫茶・キャンドル」が行われました。開始時刻に合わせて、ロッジの出入り口や階段、テーブル、窓際などに置かれた約500個の様々なキャンドルに明かりが灯され、キャンドルに彩られたレストランは、昼とは全く違った雰囲気

に包まれ、大人のムードを演出していました。

この夜は、県外より只見に移住されたメンバーで結成された「圏外バンド」の皆さんによるバンド演奏も行われ、やさしい明かりの中での迫力ある楽曲に来場者は拍手を送りながら、演奏に浸っていました。

このイベントは、100万人のキャンドルナイトin只見実行委員会（目黒道人委員長）が主催され行われたもので、この日は大雪の夜でしたが、大勢の来場者が姿を見せていました。

安心・安全な街づくりを推進 高齢者の交通事故防止俳句・短歌・川柳大会

南会津安心・安全な街づくり推進事業の一環で、高齢者の交通事故防止対策実行委員会の主催により「高齢者の交通事故防止俳句・短歌・川柳大会」表彰式が、12月15日に御蔵入交流館多目的ホール（南会津町）において行われました。

高齢者の無事故に思いを込められた作品が多数寄せられ、只見町では次の皆さんが入賞されました。おめでとうございます。

▽俳句の部

【最優秀賞】
年の瀬やゆつくり雪の交差点
菅家吉次（黒谷）

▽短歌の部

【優秀賞】
前方に杖とたすきの光揺れ
歩行者ありとスピード落とす
新國由紀子（只見）
こうれい者夜の散歩は気をつけ
て、昼とちがった明るい服で
渡部瑠唯（福井）

▽川柳の部

【優秀賞】

只見小学校が福島県教職員研究論文で入選

只見小学校（吉津和子校長）の教育研究が、福島県教育委員会主催の平成21年度福島県教職員研究論文で入選となりました。

只見小学校は、国語科を研究主題とし、読解力や表現力を高め、めていくことが重要とされる課題や自分の考えを伝えることに消極的であったり、発言しただけで考えの交流を図れなかったりする児童の実態などから、思考力・判断力の育成と主体的に表現する力を育成していく必要があると考え、児童が自分の考えを持つ「発問の精選・工夫」

や自分の考えを広げ深めることのできる「学び合いの工夫」などについて研究、さらに国語力を生かす教育活動として、読書活動の推進や表現活動の推進、学力向上のための取り組みなど、児童と一体となつて積み重ねた実践の成果が高く評価されました。



▲ 賞状を手にする吉津校長（左）

保護司に横山治夫さん



平成21年12月1日付けで横山治夫さん（楡戸）が、只見町担当の保護司として法務大臣の委嘱を受けました。

保護司は犯罪や非行に陥った人の更生の支援や、犯罪予防の啓発などを使命とし活動します。



▲ 左から酒井良彦さん、菅家吉次さん、新國由紀子さん、渡部瑠唯さん

かくれてるガンより怖い車事故
酒井良彦（坂田）